

(3) 県負担・補助率の考え方

国庫補助金の活用（外国人患者に対する医療提供体制整備等推進事業）

補助率：1/2（国 1/2、県 1/2）

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	95	委員謝金
旅費	33	委員費用弁償
需用費	24	印刷用紙代、お茶代
役務費	3	郵送料
合計	155	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略（施策編）

1 「清流の国ぎふ」を支える人づくり

(2) 誰もが活躍できる社会

医療通訳ボランティアの育成・確保を進めるほか、市町村や医療機関等と連携し、外国人患者の受診体制の整備を推進する。

(2) 後年度の財政負担

- ・継続的に実施

(3) 事業主体及びその妥当性

- ・県において、医療関係者のみならず、消防（救急）、観光・宿泊、多文化共生等の関係者を交えて課題の特定、解決策を導き、共通認識を育み、外国人患者受入体制を強化することを国から求められている。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 地域の課題を共有し、解決策を検討することにより、外国人患者の受入体制を強化する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
				(前々年度末時点)		
拠点的な医療機関数	57 (R1)	(H)	(H)	57 (R1)	67 (R6)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 令和2年度の協議会開催に向け、現在調整中

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い	
(評価) ○	県において、医療関係者のみならず、消防（救急）、観光・宿泊、多文化共生等の関係者を交えて課題の特定、解決策を導き、共通認識を育み、外国人患者受入体制を強化することを国から求められている。
・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価)	
・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある	
(評価)	

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 医療機関等から寄せられる様々な相談に対応できるワンストップ窓口の設置についても検討が必要になる。	
--	--

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 本県における外国人住民数は今後も増加することが予想され、また、医療機関における課題に随時対応していくためには、継続的に関係者による協議を行う必要がある。	
---	--